

## 自然観察サークル3月定例会ブログ



3月定例会は「道の駅二上パーク当麻」に集合して、二上山ふるさと公園を散策しました。早春の公園では春の日差しを浴びて木々や草の芽が膨らんでいました。



道の駅集合



出発



移動中



ホトケノザとヒメオドリコソウについて説明



高雄寺



葛城市福祉総合ステーション



移動中



マメグンバイナズナ説明 ツバキの説明中

一日中暖かい日差しに恵まれて、植物を観察しながら公園を楽しく散策できました。

## ホトケノザとヒメオドリコソウ



開放花

閉鎖花



ホトケノザ(シソ科 葉が丸く対生、花は上向き)

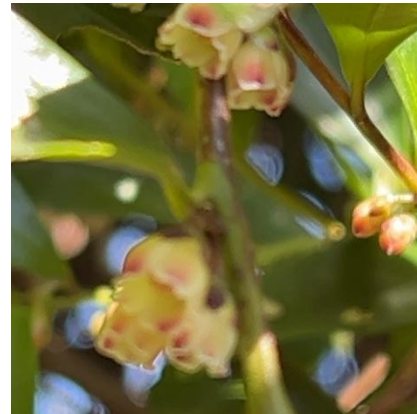
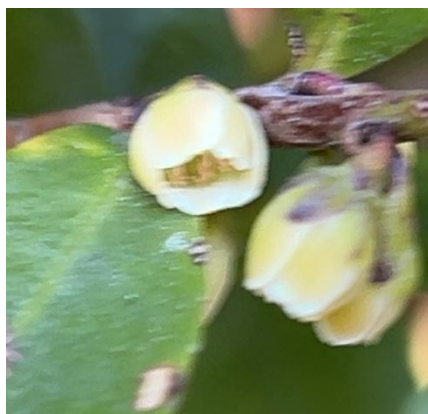
ホトケノザの花、自家受粉する閉鎖花と花が開いて虫などによる他家受粉する開放花がある。確実に子孫を残す戦略。

早春の今は開放花がほとんどで閉鎖花のついているのは日陰にあった。



ヒメオドリコソウ(シソ科 葉がスパード型 頂部が赤紫色に染まる 花は下向き)

## ヒサカキ



ヒサカキ雄花

ヒサカキの雌花



ヒサカキ(モッコク科 常緑小高木)

雌雄異株。雄花はおしべが十数個つく。雌花はめしべが一個つく。  
花は筒状 5 弁花 3-4 月に開花 サカキより葉は小型で鋸歯がある。  
左はヒサカキの実

## マメグンバイナズナ



マメグンバイナズナ(アブラナ科)果実は円形。春の七草のナズナは果実が三角。

## 他に観察した草木



ツバキ(ツバキ科 常緑照葉樹)

葉は互生し葉縁には細かい鋸歯。葉質は厚くてかたい。濃緑色でつやがある。無毛。

花は 2 月～4 月。花弁は離弁花だが散るときは花弁とおしべと一緒に落花する。サザンカは散るときはツバキとは違い花びらだけが散る。



ミモザ(マメ科)



クスノキ(クスノキ科)



ローズマリー(シソ科)



ヒドリガモ・コガモ・マガモ  
・キンクロハジロ、遠くにカイツブリ  
も見えていました。



スギ(ヒノキ科)  
いままさに開花中でした。



クロマツ (マツ科 雄花 と 雌花 雌雄異花)  
開花は4~5月ごろ



イヌマキ(マキ科 雌雄異株 雄花)  
開花は4~6月ごろ

早春らしいぽかぽかと温かい日差しを浴びて散歩することができて、ほっこりした一日でした。